

修学旅行で大阪府に行<sup>つ</sup>てきました。震災によ<sup>つ</sup>て未定とな<sup>つ</sup>てい<sup>た</sup>修学旅行は、大阪府の支援によ<sup>つ</sup>て実現<sup>された</sup>ところがでござました。

平成24年  
3月10日(土)

大船渡市立  
第一中学校

学校新聞「希望」  
第18号

発行責任者 高橋英子

一中は宮田団地の方々と交流会や新聞など様々な交流をしてきました。その宮田団地に住んでいた平山利香さんに話を聞きました。

平山さんは以前は大船渡町の駅裏に住んでいました。今は宮田団地で自治会長を務めていて、ふれあい交流会では代表としてあります。

私は仮設住宅では近所の人との付き合いがあると思っていましたが、平山さんに話を聞くと、近所との付き合いはあまりないそうです。しかし、一中生が行う雪かきがとても助かるし、テニス部の練習を見ることや希望新聞が楽しみで、そのおかげで住むことが良く感じるとか、しゃっていました。私たちが

えでことも何かの縁だから、気軽に声をかけてください」とおっしゃっていました。震災後に人と知り合えたことをプラスにあえよう、と思う平山さんの強い心がとてもすごいと思いました。

サートです。今年は練習期間も少なく、はじめはコンサートを行ふが迷っていけど、吹奏楽の演奏を聞いて、地域の復興の手伝けに、そして聞いてくださった方の心があたまり元気づけられたらしいなと思い行うことを決めました。当日は精一杯演奏するので、ぜひ見に来てください。

私たちの活動で…  
まわりのことを元気

「どうぞお話をじこに行  
たソした」と思ひます。  
平山さんには中生へ  
伝えたい事を聞くと、  
「こうして一中生になら

を演奏します。一中だけではなく、大船渡高校の吹奏楽部や地元のバンドの方々も参加してとても楽しめるコン

（1）田代は、北淡震災記念館、人と防災未来センターの見学に行きました。北淡震災記念館では物語の断層や民家がそのままの状態で保存されています。人と防災未来センターでは、防災の重要性や、命の尊さ、共に生きる

しがありました。この旅行を通して、支援してくださった大阪府のみなさんとの“絆”を確認することができ、また、深めることができました。

これからも私たちは、地域の希望の光となつて頑張ります!!

一緒に演奏したり、クイズをしたり、私たちを楽しませてくださいました。大阪府の人のあたたかさを感じました。

びほしだ。  
今回の修学旅行は、  
私たちにとって何かも  
が新鮮で、新しい発  
見と、たくさんの出会い

行って いる活動で、気持  
ちが よくなっ て いる  
と聞い て、とても嬉  
いし、も、と仮設住宅  
の方々の役に立つこと  
をやううと思 いました。

時30分から、  
リアスホール  
で一中の吹奏  
楽部の演奏から  
コンサートが